

# ふみびと

第230号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

## 梅雨空を横目に 手紙の時間

### 心躍った夏至の日

「一年で一番昼が長くなる日」今年6月21日が二十四節気で言うところの「夏至」。子どもの頃に学校の先生にそう教わって、本当にそうなのかと日が沈むまで眺めていたことを思い出します。小学校の時は私や友達の門限が「暗くなるまで」という曖昧な決まりだったことから、「一年で一番昼が長くなる日」というのはとても胸がときめく響きでした。

今どきは家などの屋内でゲームをしている子どもたちが子どもの頃はまだまだで「秘密基地」を作ったりして遊んでいた世代。寒さに震えることもなく、少し遅い時間まで外で遊べるこの季節は毎日ワクワクしていたものです。いつしかそんな心躍る季節も、外の暑さや雨の心配をしながら天気予報を見ては心憂う季節になっ

てしまったのがちよっと寂しかったりします。どんなに暑くても外で走り回って汗だくになったり、どんなに大雨でも泥まみれになりながらサツカーをしたりと、服を汚して怒られていたものですが、気がつけば大人になり怒る側の年齢に。それでも怒られてでも外で服を汚し汗だくで帰ってくるくらいの思い出があった方が、いつか振り



友人に物を貸したら、手紙と一緒に戻ってきた。そこには、お礼と日々の友達づきあいへの感謝が綴られていた。彼女とのやりとりはたいいてメールで、手書きの文字を見るのは初めてだった。丁寧な書かれた文字は、落ち着いた人柄にぴったりで、微笑ましかった。驚いたのは、書かれた言葉が

まつすぐだったことだ。いつも冷静で、感情的に話すことのない彼女からの言葉を、私は意外に思いながらとても嬉しく感じた。そう伝えると、彼女は「つい勢いで書きちゃった」のだと言う。「照

### 手書きだからこそ

れくさかったけど、せつかく書いたから渡しちゃった」と。もし、書かれたのがメールだったら、さっと削除されてしまったかもしれない。だけど、ワンクリックで消せない文字のおかげで、その言葉は私のもとに届いた。そう思い、改めて、手書きのよさを感じる出来事だった。

### 風にゆられて誰かに届け!

### 風船便

いつでも誰でも参加できますが、風船便の受取は新規の方へ優先されます。送る方は簡単で、下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ返信筒に流す宛封下で交り局用封下で交り



### 次回発送日

次回発送日は、6月30日(日曜日)のため、7月1日(月)です。

送りたいお手紙がある場合には、発送日の2日前(6月29日)までに事務局に到着することを確認の上、ポストに投函してください。

### 編集後記

事務局への心温まるお手紙をありがとうございます。すべてにお返事ができておりませんが、すべてに目を通してあります。感謝申し上げます。今後とも改善すべき部分は改善し、皆様にとって居心地の良い場と時間を提供して参ります。

